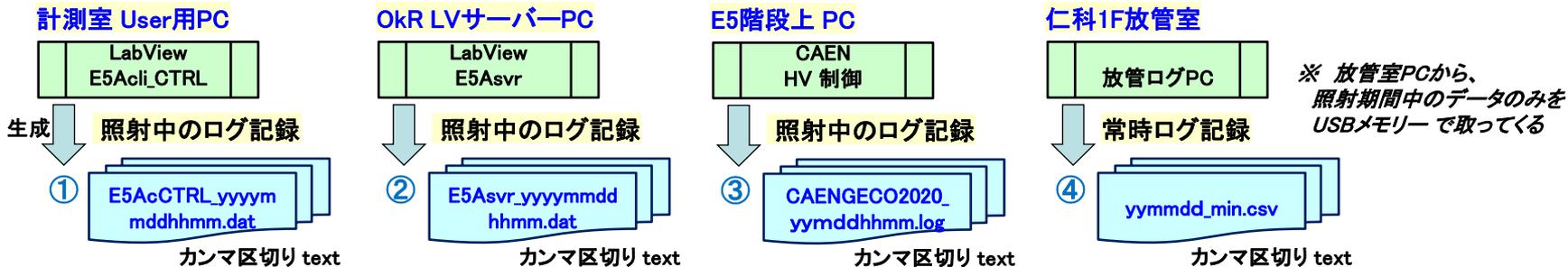
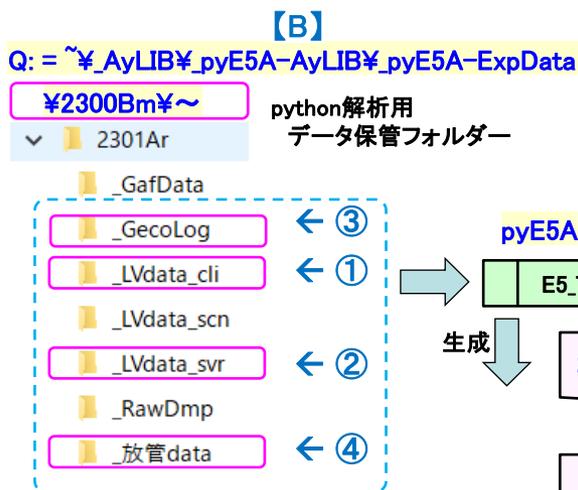
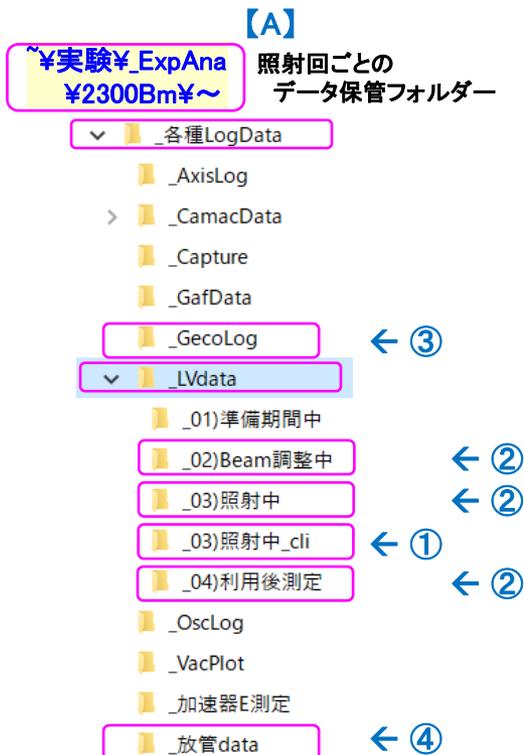


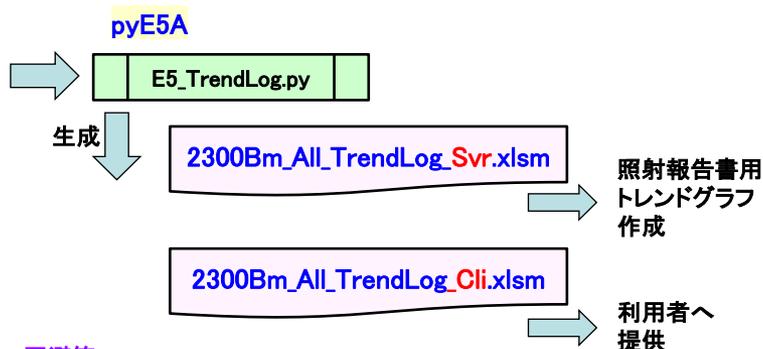
● データソース



● 保存先フォルダー



★ [A] は、自分PC 上で作業する方が安全  
最終的には、[A]フォルダーに保存するのだが、以降の一連の作業は、自分PC上に \_ExpAna¥ExpID¥~ のようなワーク領域を設けてそこで作業が完了してから、Q: へ保存する方が安全。



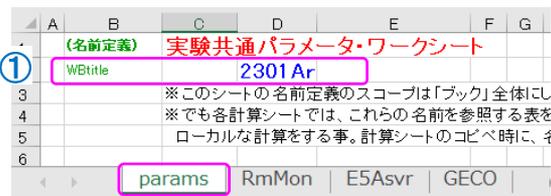
★ Python解析のエラー回避策  
[B] に保管する際に、ゴミファイル = データが1行以下 をコピーしない。  
また、データ構造が乱れている行は、行削除しておく。



● 保存先フォルダー

① 保存する前に シート = params の修正

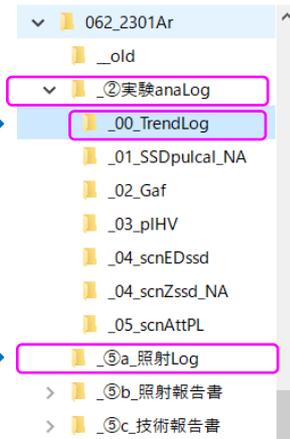
Svr, Cli 共に、WBtitle を、ExpID に修正しておく。



2301Ar\_All\_TrendLog\_Svr.xlsm  
2301Ar\_All\_TrendLog\_Cli.xlsm



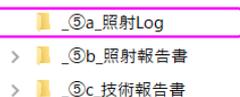
② →



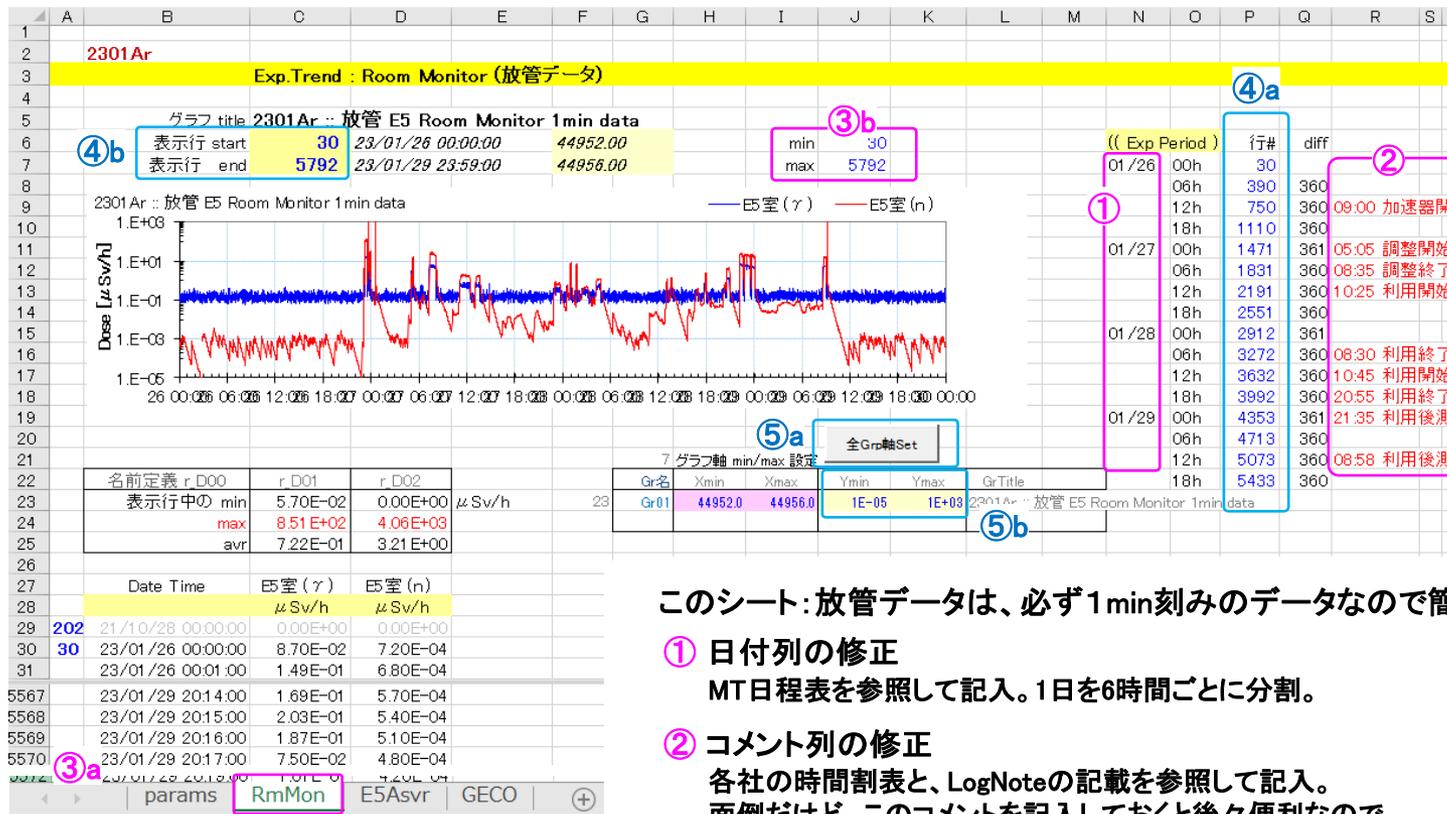
② python 出力のママで保存

③ 「後述の修正」をしてから保存

③ →



2301Ar\_All\_TrendLog\_Svr.xlsm シート: RmMon 放管データ について

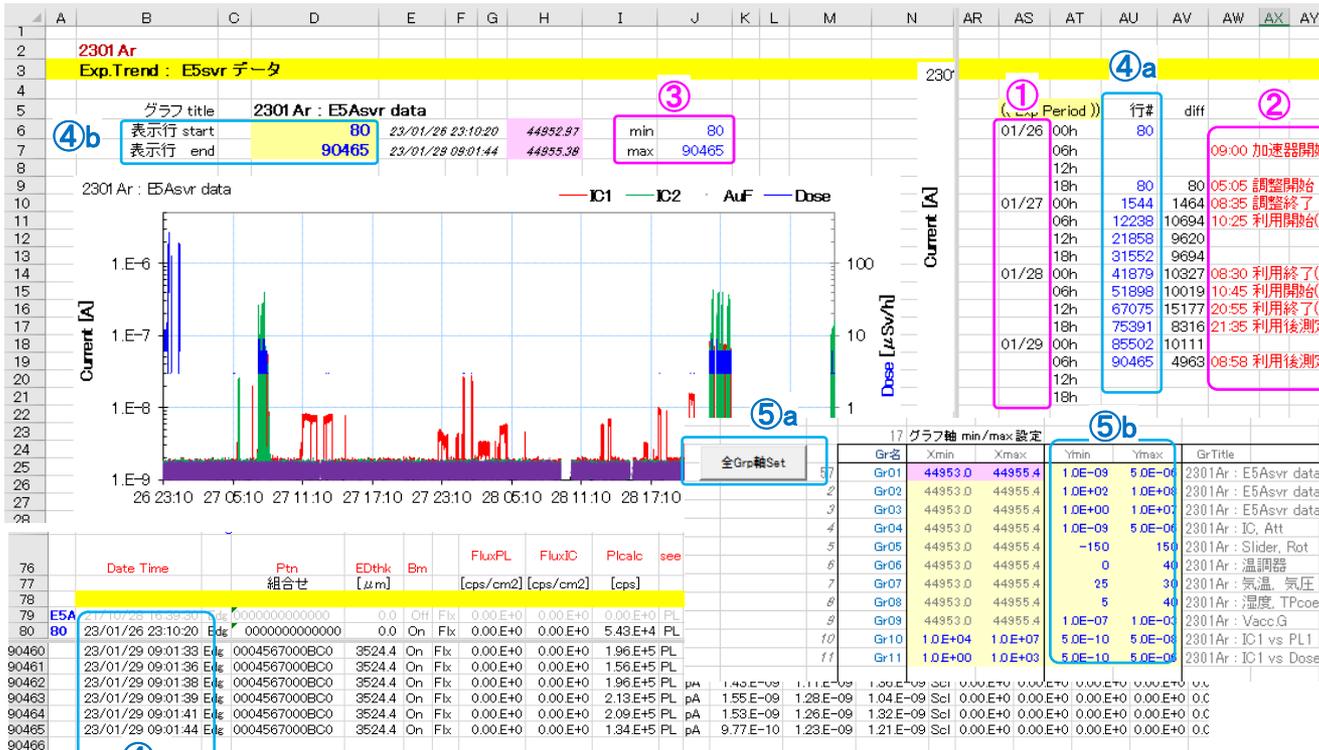


このシート:放管データは、必ず1min刻みのデータなので簡単

- ① 日付列の修正  
MT日程表を参照して記入。1日を6時間ごとに分割。
- ② コメント列の修正  
各社の時間割表と、LogNoteの記載を参照して記入。  
面倒だけど、このコメントを記入しておくとなかなか便利なので。
- ③ データ最終行番号の確認  
③aで、最終行を確認。連続照射日数によって、最終行は変わります。  
最終行の「行番号」を、③b max = に記入。
- ④ グラフ表示したい範囲を指定  
④aの行番号を参照して、④bに指定する。6時間区切りが丁度良い。
- ⑤ グラフ表示・実行  
⑤a「全Grp軸Set」ボタンを押す。縦軸スケールの変更は⑤bで調整。

(注) ⑤a マクロ実行ボタン について  
表示:新しいウィンドウを開くで、  
複数画面モードで表示している場合、  
1番目の画面(-1)からでない、  
マクロボタンは実行できません。  
Excelの仕様です。

2301Ar\_All\_TrendLog\_Svr.xlsm シート: E5Asvr LabViewサーバーデータ について



このシート: LVsvrデータは、約2sec刻みの膨大なデータで、切れ切れになっているので複雑。

①~③ は、同前述

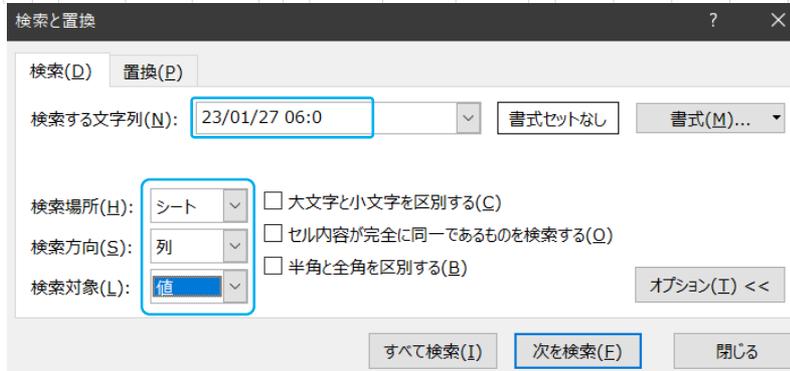
④a が面倒 → ④c 参照

でも、これをやっておくと後々便利。

④b~⑤b は、同前述

④c で、検索 = 時刻

このシートは分割表示になっているので、シート全体がズレないようにうまく検索してね。



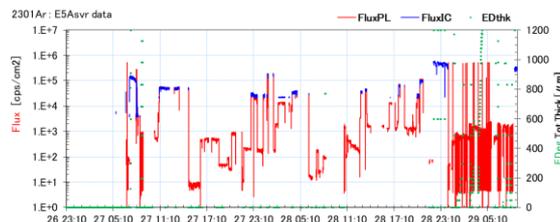
シート: GECO CAEN HVデータについても、これと同様に整理しておく。

2301Ar\_All\_TrendLog\_Svr.xlsm

①

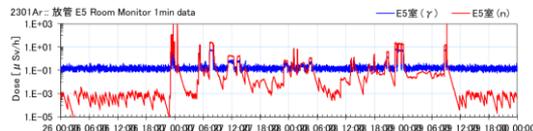
シート: E5Asvr

の左: 3段目のグラフ をコピペ



シート: RmMon

のグラフ をコピペ



① 先ず、横軸: 時刻の範囲 を合わせる

前述の(4a)④a, (4b)④aに記載した  
6時間区切りの行番号を用いて、  
E5Asvr と RmMon グラフの横軸を合わせる。

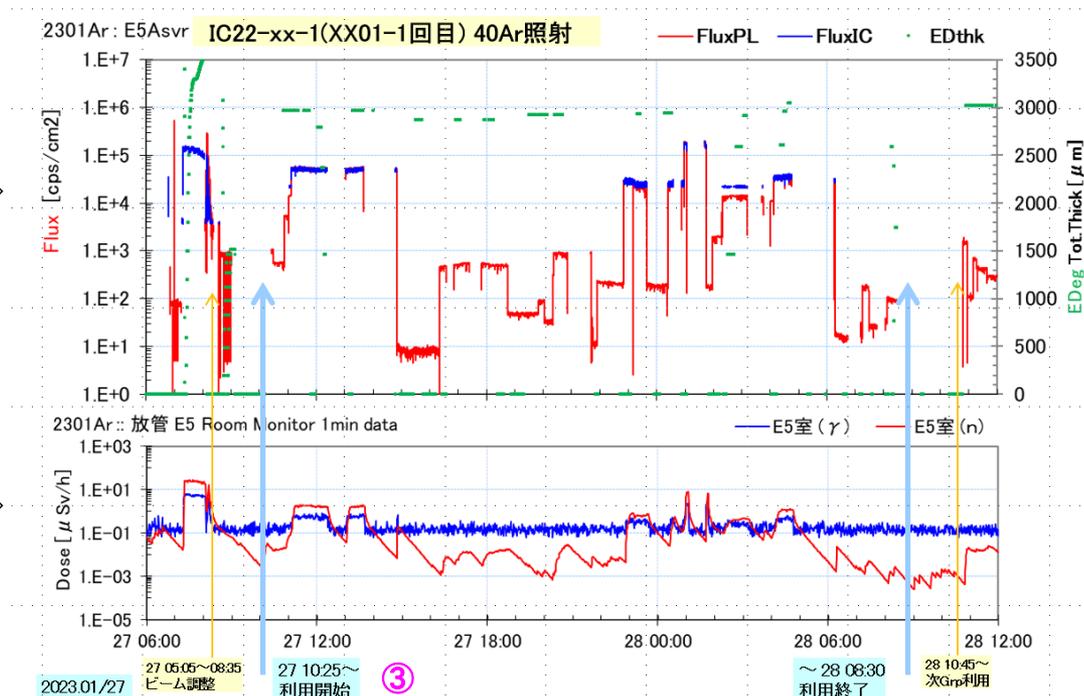
その時刻範囲は、各社の利用開始～終了  
の時刻に適宜合わせる。

※ もし、6時間区切りピッタリのデータ行が無い場合は、  
元データに、「人為的は時刻の行を挿入」する。

②

⑤納品\_Trendまとめ.ppt

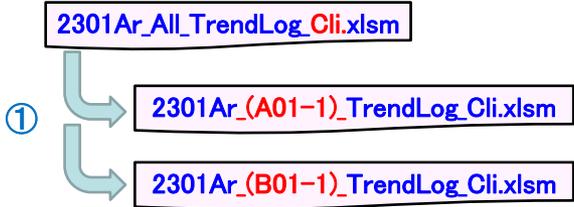
~¥ExpID¥\_⑤b\_照射報告書 にある



② Trend\_まとめ.pptへ「貼付け: 形式を指定: 図(png)」で貼付け  
図の前面・後面関係を考慮して、コンパクトに並べる。

③ 図中コメントの修正  
図タイトル、利用開始・終了時刻、その矢印など。

出来上がった Trend グラフを「図として保存: \*.png」してから、  
請求書に貼り付ける。

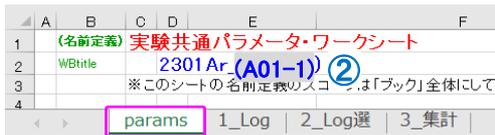


① **\_Cli** を、各社ごとに分割する

**\_Cli** をコピーして、  
各社課題番号の名前に変更。

② シート = **params** の修正

**WBtitle** を、**ExpID\_課題番号** に修正



③ シート = **1\_Log** の修正

自社以外の「**不要なデータ行を削除**」する

自社データの判断は、  
**E5AcCTRL\_(Log記録開始時間).dat** ファイル名  
を見て決める。  
シュートカットキーは **CTRL+↓ CTRL+↑**

③

Date Time	Run#	Ptn	EDthk	Bm	Flux
	loopCount	組合せ	[μm]		[cps/c]
23/01/27 15:59:56	R# 42.0094	Edg	0.0000	On	Flx 8.49
23/01/27 15:59:59	R# 42.0095	Edg	0.0000	On	Flx 8.12
23/01/27 16:00:00	R# 42.0096	Edg	0.0000	On	Flx 7.91
23/01/27 16:00:02	R# 42.0097	Edg	0.0000	On	Flx 8.84



④ **グラフ表示の調整**

④a 行範囲 min/max を記入

④b 表示範囲 同④a を記入

④c 「全Grp軸set」を押す  
必要に応じて縦軸を調整

Runサマリー表を作る。

2301Ar (ML05-1)

Log から「Run STOP 時の集計行」のみを 自動抽出

①a, ③a

sFrWS	1_Log	from シート名	sFrCIPk1	D	Run#
sFrMk	Avr	from 特定マーク文字列	sFrCIPk2	B	DateTime
sFrCIMk	BS	from マークを検索する列	sFrCIPk3	F	EDptn
iFrRwS	40	from その列のStart行	sFrCIPk4	G	Th
iFrRwE	30000	from その列のEnd 行	sFrCIPk5	BI	FluxPL
sToRngS	D20	to Past先の先頭位置	sFrCIPk6	BJ	FluxIC1
			sFrCIPk7	BK	PL
			sFrCIPk8	BL	IC1

下表を「数値のクリア」してから --> 「Log選択」を押す

Log選択 ①b

Run#	Date Time	EDptn	Th	FluxPL	FluxIC1	PL	IC1
LogCount			μ m	cps/cm2	cps/cm2	cps	A
1.0052	23/01/27 10:51:29	0345078900C0	9969.4	5.57E+02	0.00E+00	5.90E+02	2.68E-10
90.0150	23/01/28 04:12:19	00000000000000	0.0	1.10E+04	2.48E+03	6.47E+03	2.94E-10
91.0110	23/01/28 04:12:19	00000000000000	0.0	3.38E+04	1.57E+03	6.47E+03	2.25E-10
92.0152	23/01/28 04:26:53	020000089A0C0	9606.2	3.53E+04	2.15E+03	1.57E+04	3.08E-10

params | 1\_Log | 2\_Log選 | 3\_集計

2301Ar (ML05-1)

Run 一覧表

Run#	Date Time	EDptn	Th	平均値 (Avr)				誤差 (StD)				
				FluxPL	FluxIC1	PL	IC1	FluxPL	FluxIC1	PL	IC1	
LogCount			μ m	cps/cm2	cps/cm2	cps	A	cps/cm2	cps/cm2	cps	A	
7	1.0052	23/01/27 10:51:29	1034507890000	2969.4	5.58E+02	0.00E+00	1.08E+04	1.42E-09	5.57E+02	0.00E+00	5.90E+02	2.68E-10
2	2.0050	23/01/27 10:55:12	1034507890000	2969.4	5.43E+03	0.00E+00	1.05E+05	1.95E-09	5.39E+03	0.00E+00	1.01E+03	2.58E-10
3	3.0052	23/01/27 10:55:04	1034507890000	2969.4	5.38E+03	0.00E+00	1.05E+05	1.86E-09	5.38E+03	0.00E+00	1.01E+03	2.83E-10
4	4.0051	23/01/27 10:55:04	1034507890000	2969.4	1.44E+04	5.66E+05	2.79E-09	1.43E+04	9.69E+03	3.21E-10		
5	5.0051	23/01/27 11:14:06	1034507890000	2969.4	5.54E+04	5.15E+06	7.38E-09	5.57E+04	1.93E+03	2.77E-10		
6	6.0150	23/01/27 11:14:06	1034507890000	2969.4	5.56E+04	5.16E+04	1.09E+06	7.40E-09	5.57E+04	1.86E+03	6.89E+03	2.67E-10
7	7.0029	23/01/27 11:19:30	1034507890000	2969.4	5.50E+04	5.05E+04	1.07E+06	7.23E-09	5.51E+04	2.03E+03	4.48E+03	2.91E-10
8	8.0027	23/01/27 11:22:00	1034507890000	2969.4	5.49E+04	5.08E+04	1.07E+06	7.28E-09	5.51E+04	1.64E+03	6.41E+03	2.34E-10
9	9.0029	23/01/27 11:35:00	1034507890000	2969.4	5.54E+04	5.12E+04	1.10E+06	7.34E-09	5.52E+04	1.71E+03	6.00E+03	2.46E-10
19	10.0028	23/01/27 11:37:20	1034507890000	2969.4	5.50E+04	5.16E+04	1.08E+06	7.39E-09	5.47E+04	1.91E+03	2.82E+04	2.74E-10
20	11.0028	23/01/27 11:40:35	1034507890000	2969.4	5.53E+04	5.08E+04	1.08E+06	7.28E-09	5.53E+04	1.90E+03	4.58E+03	2.73E-10
61	61.0012	23/01/27 20:00:37	0230507890000	2923.4	8.98E+01	0.00E+00	1.77E+03	1.34E-09	9.06E+01	0.00E+00	2.62E+01	9.23E-11
62	62.0113	23/01/27 20:08:27	0230507890000	2923.4	3.39E+01	0.00E+00	6.51E+02	1.33E-09	3.15E+01	0.00E+00	2.61E+01	2.81E-10
63	63.0497	23/01/27 20:40:37	0230507890000	2923.4	8.78E+02	0.00E+00	1.74E+04	1.40E-09	8.91E+02	0.00E+00	5.89E+02	2.76E-10
64	64.0051	23/01/27 21:52:21	00000000000000	0.0	1.17E+01	0.00E+00	2.25E+02	1.31E-09	1.15E+01	0.00E+00	1.13E+01	2.63E-10
65	65.0019	23/01/27 21:55:29	00000000000000	0.0	2.30E+02	0.00E+00	4.49E+03	1.35E-09	2.31E+02	0.00E+00	5.19E+01	2.49E-10

params | 1\_Log | 2\_Log選 | 3\_集計

① シート= 2\_Log選 で

①a sFrMk = Avr にして、

①b [ Log選択 ] ボタンを押すと、  
1\_Log シート: データ行末 = Avr の行を探して、  
必要な列の数値が選択される

(注) ⑤a 表のコピペ について  
ペーストの時に、右クリック  
貼付けオプション=数値  
を指定する

② シート= 3\_集計 へコピペ

2\_Log選 ②a → 3\_集計 ②a へ コピペ

2\_Log選 ②b → 3\_集計 ②b へ コピペ

③ シート= 2\_Log選 で

③a sFrMk = StD にして、以下同様

2\_Log選 ②b → 3\_集計 ②c へ コピペ



### ① 修正済ファイルの保存

保存先は ~¥ExpID¥\_⑤a\_照射Log ^

### ② 各社へ配布

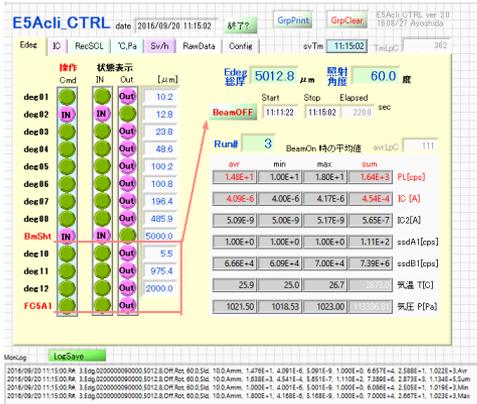
保存先は 各社の専用Box ^

## 以下「旧マニュアル」

必要に応じて、旧マニュアルのコメントも参照

Python スクリプトが無かった頃は、全て手動でやっていた。

# E5Aサルマニ: 納品データ整理: ⑤納品\_TrendUser\_xlsm (1)



計測室 User用PC

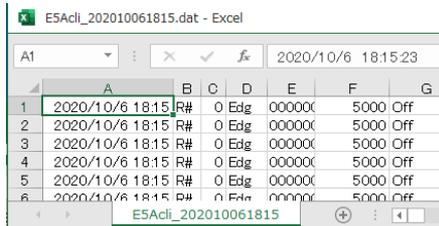


照射中のログ記録



カンマ区切り csv ファイル

Excel:ファイル:開く:で 上記 \*.dat を1ファイル毎に開く。

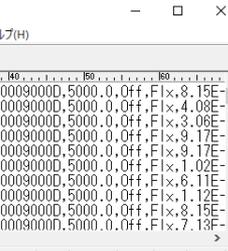


「数値を」コピペ  
書式を上書きしない事!

⑤納品\_TrendUser\_xlsm  
1\_Log シート

ココ 40行以降にペースト  
A列: csvファイル名  
B列~ 数値をコピペ

という操作を、  
全ての \*.dat ファイルについて繰り返す



テキストファイルウィザード - 1 / 3

選択したデータは固定長のデータで構成されています。

[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式

データのファイル形式を選択してください:

カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)

スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(W)

テキストファイルウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り

区切り文字

タブ(T)

セミコロン(M)

カンマ(C)

スペース(S)

その他(O):

連続した区切り文字は 1 文字として扱う(R)

文字列の引用符(Q): " >

テキストファイルウィザード - 3 / 3

区切ったあとの列のデータ形式を選択してください。

列のデータ形式

G/標準(G)

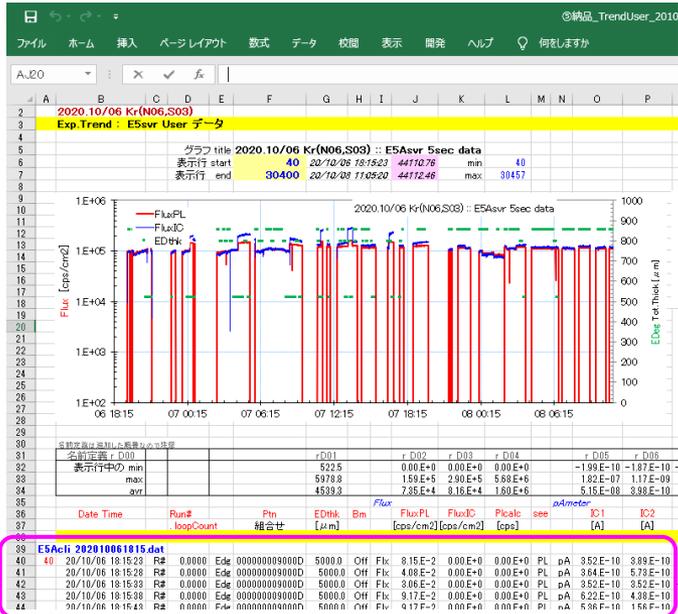
文字列(L)

日付(D): YMD

削除する(I)

日付指定 列 = 1か所  
文字列指定 列 = 2か所  
あるので注意!

データのプレビュー(P)



# E5Aサルマニ: 納品データ整理: ⑤納品\_TrendUser\_xlsm (2)

## ② グラフの表示範囲を指定

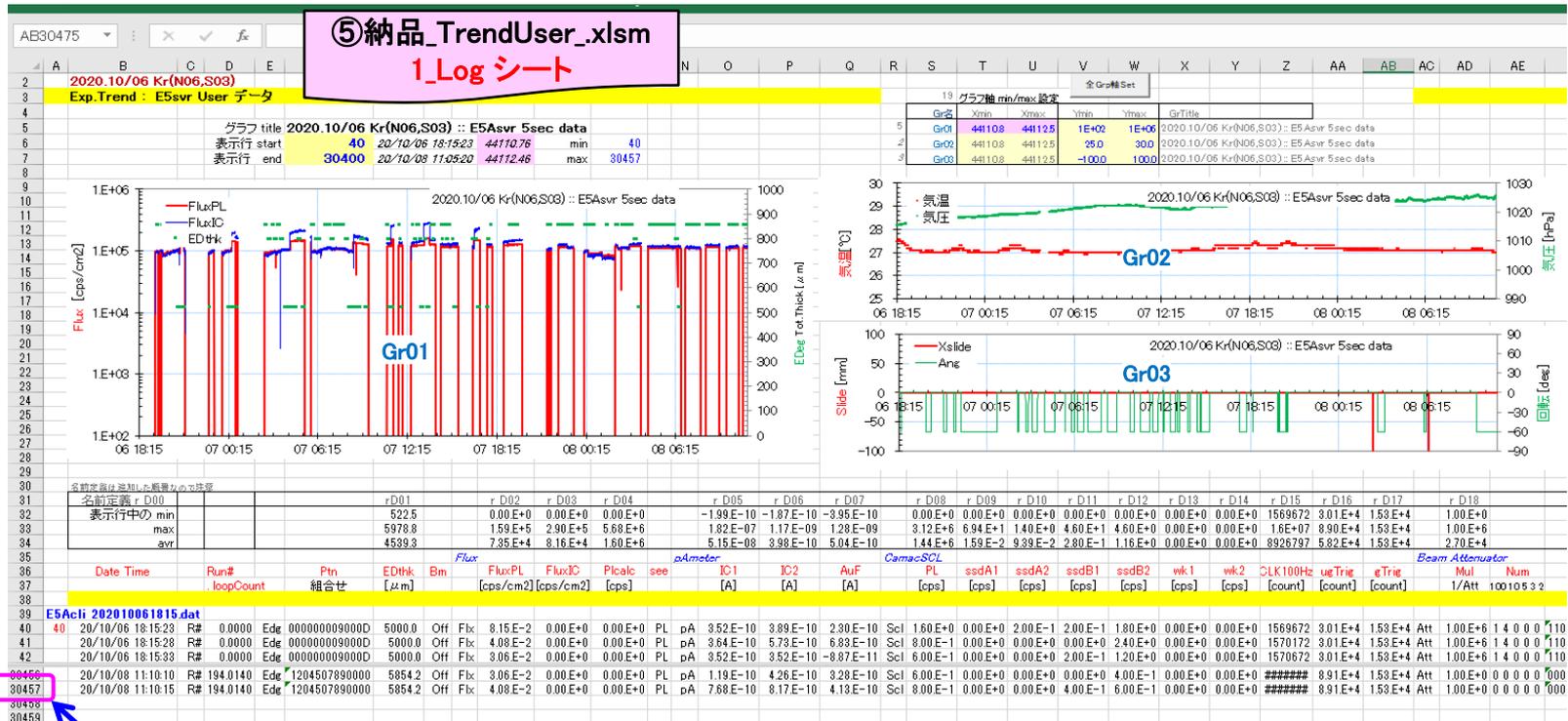
グラフ title	2020.10/06 Kr(N06,S03) :: E5Asvr 5sec data			
表示行 start	40	20/10/06 18:15:23	44110.76	min 40
表示行 end	30400	20/10/08 11:05:20	44112.46	max 30457

① 最終行の番号を記入

## ④ グラフ X,Y軸範囲を自動セット(マクロ実行)

19 グラフ軸 min/max 設定					
Gr名	Xmin	Xmax	Ymin	Ymax	GrTitle
Gr01	44110.8	44112.5	1E+02	1E+06	2020.10/06
Gr02	44110.8	44112.5	25.0	300.0	2020.10/06
Gr03	44110.8	44112.5	-1.000	1.000	2020.10/06

③ グラフ Gr01~03 のY軸範囲を指定



最終行の番号

# E5Aサルマニ: 納品データ整理: ⑤納品\_TrendUser\_xlsm (3)

名前定義	r_D00	r_D01	r_D02	r_D03	r_D04	r_D05	r_D06	r_D07	r_D08
表示行中の min	522.5	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	#####	#####	#####	0.00E+0
max	5978.8	1.59E+5	2.90E+5	5.68E+6	1.82E-07	1.17E-09	1.28E-09	3.12E+6	3.12E+6
avr	4539.3	7.35E+4	8.16E+4	1.60E+6	5.15E-08	3.98E-10	5.04E-10	1.44E+6	1.44E+6

r_D32:r_D33	0.0	0.0
###	60.1	60.1
57.0	59.4	59.4

## E5Acli\_CTRL.vi のログデータ形式

(グループ名・項目名)	(データの説明)
<b>Date Time</b>	レコード時刻
<b>R#</b>	Run番号
<b>Run# . Loop カウント</b>	Run番号+レコードLoopカウント
<b>Edg</b>	EDeg 状態
<b>Ptn 組合せ文字列</b>	EDeg板番号パターン
<b>EDthk [μm]</b>	EDegの厚さ
<b>Bm = ON or OFF</b>	Beam ON/OFF 状態
<b>Flx</b>	Beam Flux 情報
<b>FluxPL [cps/cm2]</b>	Plasticシンチで測定したFlux値
<b>FluxIC [cps/cm2]</b>	IC1イオンチェンバーで測定したFlux値
	※これらの値は、ビーム調整時に PL vs IC1 測定で較正した計算値
<b>Plastic [cps]</b>	PLシンチのカウントレート
<b>see = PL or IC</b>	PLとICどちらのFlux値を採用すべきか
	※利用中の LabView画面に表示されている「矢印の向き」に相当
	PLの最大許容カウントレート以上だと、Plastic[cps]は減少するので注意
<b>pA</b>	ピコアンペアメータ 情報
<b>IC1 [A]</b>	IC1イオンチェンバー電流値
<b>IC2 [A]</b>	IC2イオンチェンバー電流値
<b>AuF [A]</b>	上流常設ビーム散乱膜(Au)の電流値
	※利用中も常設なモノ: IC1,AuF 利用中は未使用なモノ: IC2
	これらの検出器のノイズレベルは、約 5E-10[A] 程度の値です。
<b>ScI</b>	CamacDAQで測定している各検出器のカウントレート
<b>PL [cps]</b>	PLシンチのカウントレート
<b>ssdA1,A2,B1,B2 [cps]</b>	Energy検出器(Si 4枚)のカウントレート
<b>wk1,wk2 [cps]</b>	work検出器(予備用)のカウントレート
<b>CLK100Hz [count]</b>	CamacDeadTime(DT)測定用Clock
<b>ugTrig, gTrig [count]</b>	DT測定用トリガー数 ungated/ gated
	※利用中も常設なモノ: PL それ以外は通常未使用
<b>Att</b>	E5の上流、加速器ラインのBeam Attenuator 情報
<b>Mul [1/Att]</b>	Full Beam強度の 何分の一か?
<b>Num 100,10,5,3,2</b>	1/100, 1/10, 1/5, 1/3, 1/2 の枚数
<b>Ptm 組合せ文字列</b>	Att組合せ (加速器からの生データ)
<b>Chp</b>	加速器へ送っている Beam Chopper 信号情報
<b>Out ON or OFF</b>	信号を送っている(ON) いない(OFF)
<b>Hz</b>	矩形波信号の周波数
<b>Duty [%]</b>	矩形波信号 Beam ON のDuty率
	※通常の利用では、これらは使っていません。

<b>Air</b>	E5照射室の気温、気圧 情報
<b>気温 [°C]、気圧[hPa]</b>	常設架台位置の気温、気圧
<b>湿度[%RH]、換算計数</b>	湿度、SRIM計算(標準Gas)換算計数
	※気温気圧計の読み取りエラーの時は、値が変になっています。
<b>Sv</b>	E5照射室の放射線量 情報
<b>Dose [mV]</b>	黒電離箱 電圧値 fullスケール設定に依存
<b>Dose [μSv/h]</b>	常設架台位置の放射線量(γ線)
<b>Slid</b>	スライダメカ 位置情報
<b>AuF, ZnS [mm]</b>	上流 Au散乱膜、ZnS 出し入れスライダ
<b>X, Z slide [mm]</b>	X-Z-方向スライダの位置
<b>Rot</b>	照射試料十字架台の回転角度
<b>Ang [deg]</b>	照射角度 上から見て +:反時計 -:時計回り
<b>Htr</b>	照射ヒーター(温調器) 情報
<b>PV [°C]</b>	熱電対測定温度(読み値)
<b>SV [°C]</b>	温調器・設定温度
<b>Run = ON or OFF</b>	温調器 Run状態(温調制御 ON/OFF)
<b>Stat</b>	利用者 Run測定中(BeamON状態)の統計データ
<b>FluxPL, FluxIC, PL, IC1, IC2, AuF, ssdA1, ssdB1, 気温, 気圧</b>	Beam=ONの測定中は、これらの値は上記の同項目名の値と同じモノ(オウム返し)です。
	変な値が記録された場合、後でこの列を手動で average() などの再集計をする為
	Beam=OFFに変わった時は、これらの値は以下「ラベル」の意味に従った値です
<b>ラベル</b>	
<b>start</b>	[Beam=ON 状態] になった時のマーク
	[Beam=OFF状態] になった時に Run中の集計値を以下5行で表示
<b>Avr</b>	平均値を表示する行
<b>(N=**)StD</b>	分散値の行(N= は、Run中の総Loopカウント)
<b>Sum</b>	合計値を表示する行
<b>Min, Max</b>	最大、最小値を表示する行
	※[Beam=OFF状態] になった後の測定値(5回分)は、集計に含まれません。
	★「2_Log選」シートでは、Avr と StDの文字を頼りに集計行を抽出してます

⑤納品\_TrendUser\_xlsm  
params シート  
にも記載しておきました。

# E5Aサルマニ:納品データ整理: ⑤納品\_TrendUser\_xlsm (4)

⑤納品\_TrendUser\_xlsm  
2\_Log選 シート

集計行を抽出

2020.10/06 Kr(N06,S03)  
Log から「Run STOP 時の集計行」のみを 自動抽出

① 1\_Log\_S03  
Avr

from シート名  
from 特定マーク文字列 Avr/StD

from PkUp列  
D Run#  
F EDptn  
G Th  
BE FluxPL  
BF FluxIC1  
BG PL  
BH IC1  
BJ AuF

from マークを探索する列  
from その列のStart行  
from その列のEnd 行  
to Past先の先頭位置

③ Log選択

下表を「数値のクリア」  
してから → 「Log選択」を押す

Run#	EDptn	Th	FluxPL	FluxIC1	PL	IC1	AuF	
LoopCount		μm	cps/cm2	cps/cm2	cps	A	A	
7	0.0004	0000567090000	5397.4	1.78E-02	0.00E+00	3.50E-01	4.29E-10	4.65E-10
2	1.0003	0000567000000	5397.4	6.79E-03	0.00E+00	1.33E-01	4.50E-10	4.54E-10
3	0.0007	0000567090000	5397.4	1.45E+05	1.18E+06	2.85E+06	7.42E-07	2.13E-09
4	1.0005	0000567090000	5397.4	1.45E+05	1.19E+06	2.85E+06	7.47E-07	1.95E-09
5	2.0003	0000567090000	5397.4	1.46E+05	1.21E+06	2.86E+06	7.59E-07	1.87E-09
6	3.0031	0000567090000	5397.4	1.12E+04	9.06E+03	2.19E+05	5.70E-09	3.85E-10
51	48.0029	0000567090000	5397.4	6.11E+03	5.03E+03	1.20E+05	3.16E-09	3.04E-10
52	49.0029	1204000890000	5557.5	6.13E+03	5.09E+03	1.20E+05	3.20E-09	3.85E-10
53	50.0007	1200500890000	5609.2	6.13E+03	5.11E+03	1.20E+05	3.21E-09	2.93E-10

データを参照

⑤納品\_TrendUser\_xlsm  
1\_Log シート

- ① 参照する 1\_Log シート名を指定  
マーク = Avr の場合 平均値行の抽出  
= StD の場合 誤差 (Std.Dev) 行の抽出
- ② 抽出結果が表示される 表部分 を  
「値のクリア」しておく。書式はクリアしない事!
- ③ 「Log選択」マクロ実行ボタンを押す。
- ④ 抽出結果を、⑤ シートにコピペする。

抽出結果をコピペ

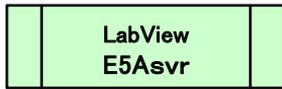
⑤納品\_TrendUser\_xlsm  
3\_集計シート

2020.10/06 Kr(N06,S03)  
Run 一覧表 N06

Run#	EDptn	Th	平均値 (Avr)					誤差 (StD)					
			LoopCount	FluxPL	FluxIC1	PL	IC1	AuF	FluxPL	FluxIC1	PL	IC1	AuF
		μm	cps/cm2	cps/cm2	cps	A	A	cps/cm2	cps/cm2	cps	A	A	
7	0.0000	0000000090000	5000.0	9.17E-02	0.00E+00	1.80E+00	2.42E-10	1.81E-10	1.02E-01	0.00E+00	2.00E+00	2.15E-11	5.60E-10
2	0.0000	0000000090000	5000.0	6.11E-02	0.00E+00	1.20E+00	2.42E-10	2.12E-10	9.17E-02	0.00E+00	1.80E+00	3.89E-10	4.62E-10
3	0.0000	0000000090000	5000.0	1.12E-01	0.00E+00	2.20E+00	4.26E-10	2.10E-10	8.15E-02	0.00E+00	1.60E+00	3.40E-10	3.52E-10
4	0.0000	0000000090000	5000.0	5.10E-02	0.00E+00	1.00E+00	6.22E-10	5.30E-10	7.13E-02	0.00E+00	1.40E+00	2.30E-10	1.93E-10
5	0.0000	0000000090000	5000.0	6.11E-02	0.00E+00	1.20E+00	4.99E-10	1.68E-10	1.32E-01	0.00E+00	2.60E+00	4.01E-10	7.56E-10
6	0.0000	0000000090000	5000.0	8.15E-02	0.00E+00	1.60E+00	5.11E-10	6.34E-10	8.15E-02	0.00E+00	1.60E+00	2.66E-10	3.52E-10

# E5Aサルマニ:納品データ整理: ⑤納品\_TrendSvr\_xlsm (1)

OkR incotE5 LVサーバー



照射中のログ記録



⑤納品\_TrendUser\_xlsmで行ったのと同じ操作を繰り返し、[E5Asvr]シートにコピペする。

仁科棟 1F 放管室 放管ログ端末



	A	B	C	D
1	測定時刻	E5室(γ)	E5室(n)	
2		μSv/h	μSv/h	
3	2020/10/5 0:00	1.84E-01	6.55E-04	
4	2020/10/5 0:01	1.41E-01	1.41E-03	
5	2020/10/5 0:02	1.52E-01	1.33E-03	

1日毎、1分間隔データを CSV 出力して貰ってくる。照射日数分の CSV を、[RmMon]シートにコピペする。

⑤納品\_TrendSvr\_010Kr(N06,S03)\_201020.xlsm - Excel

Exp.Trend : E5svr データ

グラフ title 2020.10/06 Kr(N06,S03) :: E5Asvr 5sec data

表示行 start	8832	20/10/06 06:00:02	44110.25	min	80
表示行 end	59000	20/10/09 09:02:02	44113.38	max	59194

名前定義 r D00	r D01	r D02	r D03	r D04	r D05	r D06	r D07
表示行中の min	0.0	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	-7.01E-10	-2.11E-10	-4.93E-10
max	7975.4	1.70E+5	1.70E+7	3.33E+8	8.65E-06	1.78E-07	1.91E-08
avr	4203.4	4.45E+4	2.82E+5	5.54E+6	1.51E-07	1.50E-09	7.13E-10

Date Time	Edex	Ptn	EDthk	Bm	Flux	FluxPL	FluxIC	Pcalc	see	pAmetor	IC1	IC2	AuF	Cams
組合せ	[μm]				[cps/cm2]	[cps/cm2]	[cps]				[A]	[A]	[A]	
E5Asvr 202010051750.dat														
80 20/10/05 17:50:42	Edex	0000000000000000	0.0	Off	Flx	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	PL	pA	1.19E-10	8.27E-11	2.17E-10	Sci
20/10/05 17:50:47	Edex	0000000000000000	0.0	Off	Flx	0.00E+0	0.00E+0	0.00E+0	PL	pA	4.13E-10	5.85E-10	6.09E-10	Sci

⑤納品\_TrendSvr\_2010Kr(N06,S03)\_201020.xlsm...

Exp.Trend : Room Monitor (放管データ)

グラフ title 2020.10/06 Kr(N06,S03) :: 放管 E5 Room Monitor 1min data

表示行 start	1831	20/10/06 06:00:00	44110.25	min	30
表示行 end	6512	20/10/09 11:58:00	44113.50	max	5792

# E5Aサルマニ: 納品データ整理: ⑤納品\_TrendSvr\_.xlsm (2)

⑤納品\_TrendUser\_.xlsm で行ったのと同じく、グラフ描画パラメータを調整する。[RmMon]と[Svr]シートの両方でやる事。

2020.10/06 Kr(N06,S03)  
Exp.Trend : Room Monitor (放管データ)

グラフ title 2020.10/06 Kr(N06,S03)::放管 E5 Room Monitor 1min data  
表示行 start 1831 20/10/06 06:00:00 44110.25 min 30 ((Exp Period)) 行# 30 diff  
表示行 end 6512 20/10/09 11:58:00 44113.50 max 5792 10/05 00h 360

③グラフの表示範囲を指定 ①最終行の番号を記入

⑤ グラフ X,Y軸範囲を自動セット

名前	Xmin	Xmax	Ymin	Ymax	GrTitle
Gr01	44110.3	44113.3	1E-05	1E+03	2020.10/06 Kr(N06,S03)::放管 E5

④ グラフ Gr01~03 のY軸範囲を指定

名前	r_D00	r_D01	r_D02	μ Sv/h
表示行中の min	6.32E-02	0.00E+00		
max	1.86E+02	2.09E+03		
avr	1.51E+00	1.03E+01		

Date Time	E5室 (γ) μ Sv/h	E5室 (n) μ Sv/h
20/10/05 00:00:00	1.84E-01	6.55E-04
20/10/05 00:01:00	1.41E-01	1.41E-03

②時刻と行番号の対応表を作る

((Exp Period))	行#	diff	
10/05 00h	30		
06h	390	360	09:00 加速器開始
12h	750	360	
18h	1110	360	
10/06 00h	1471	361	
06h	1831	360	08:00 調整開始
12h	2191	360	13:55 調整終了
18h	2551	360	19:15 利用開始(N06)
10/07 00h	2912	361	
06h	3272	360	
12h	3632	360	
18h	3992	360	
10/08 00h	4352		
06h	4712		11:10 利用終了(N06)
12h	5072		14:00 利用開始(S03)
18h	5432		
10/08 00h	5792		
06h	6152		07:00 利用終了(S03)
12h	6512		09:15 実験終了
18h	6872		

E5\_Tr20201005.csv

請求書を発行申請時に、当チームが発行する「ビーム照射報告書」の「付記:ビーム照射記録」に掲載するグラフを用意する。  
File: Trendまとめ.ppt を作る。

← [Svr]シート から PNGで コピペ

← [RmMon]シートから PNGで コピペ

← 利用開始、終了の時刻 を示す 補助線を追記する。

